

各種ゴムの特性

■低反発ウレタン・低弾性ゴム(ハネナイト®)の特長

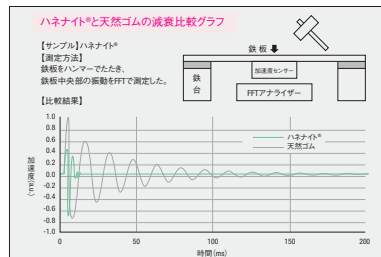
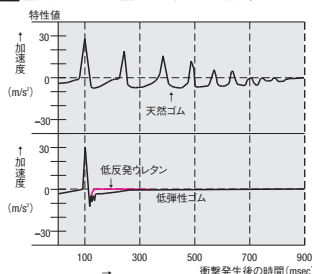
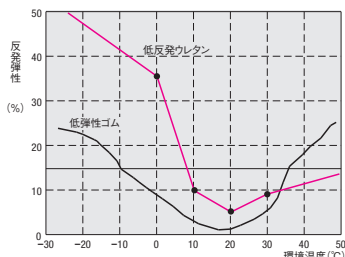
- ・低反発ウレタン
ウレタンと同様の特性を持ち、さらに衝撃吸収性に優れています。また、通常のウレタンと比較して圧縮永久歪が少ないため、へたりにくいという特徴があります。ただし、同じ硬度のウレタンを比較すると引張り強さや伸びに劣るため、大きな衝突エネルギーを吸収させるのには向きません。
- ・低弾性ゴム(ハネナイト®) (ハネナイト®は内外ゴム株式会社の登録商標です。
伸びがある素材で衝撃吸収性に優れているため、バレットダンパーや搬送機器・精密機器等の緩衝材として使用されています。また、振動吸収性にも優れているため、各種精密機械の制振材としても使用されています。

参考：低反発ウレタンの圧縮永久歪みデータ

低反発ウレタン	1%
ウレタン(ショアA70)	25%

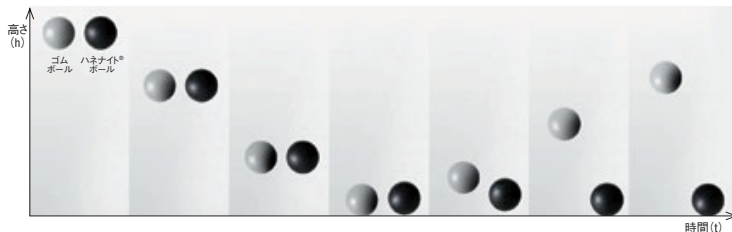
*上記データは室温23℃での測定値
*70℃×24H 25%圧縮

■低弾性ゴム・低反発ウレタン反発弾性温度変化 ■低弾性ゴム・低反発ウレタン衝撃吸収性比較



Ⓢ 上記数値は標準値であり、保証値ではありません。

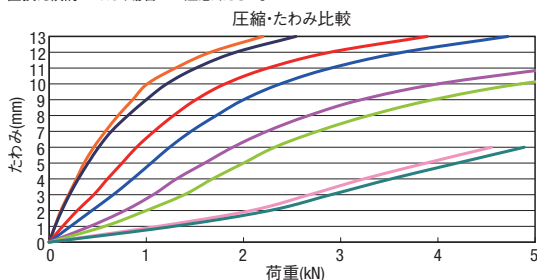
■ゴムボールとハネナイト®ボールの落下比較



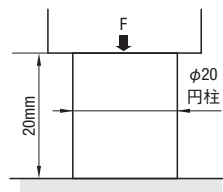
鋼球衝突音比較試験

■セラミックスウレタンの特長 P459

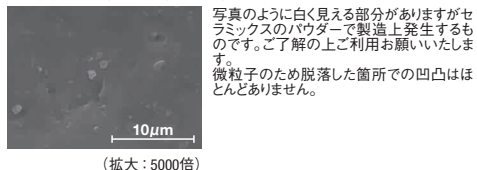
- 標準ウレタンとセラミックスウレタンのたわみの比較
セラミックスウレタンは同じ荷重の場合、たわみが標準ウレタンと異なります。置換え検討いただく場合はご注意ください。



- ショアA
- 50°セラミックスウレタン
- 50°標準ウレタン
- 70°セラミックスウレタン
- 70°標準ウレタン
- 90°標準ウレタン
- 90°セラミックスウレタン
- 95°セラミックスウレタン
- 95°標準ウレタン



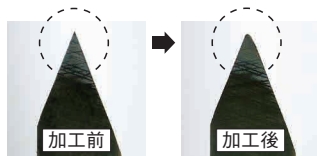
●セラミックスウレタン表面拡大図



写真のように白く見える部分がありますがセラミックスパウダーで製造上発生するものです。ご了解の上ご利用をお願いいたします。
微粒子のため脱着した箇所での凹凸はほとんどありません。

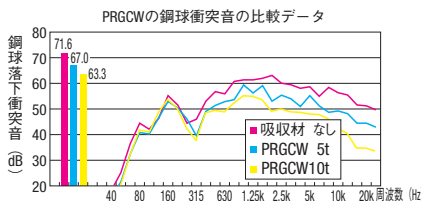
●セラミックスウレタン加工後の刃物の変化

セラミックスウレタン丸棒を旋盤で切削加工(旋盤:600回転/分)約2分間の加工後の刃物の変化



■衝撃吸収フォームの特長 P479

- 消音・振動吸収性に優れています。
柔軟なため、パイプ等の曲面に自在に貼れます。
軽量でシート状なので、広範囲のパネル面に貼れます。
人体への保護に最適で、重要部分には重ね貼りができます。



項目	吸収材なし	PRGCW5	PRGCW10
衝突音 (dB)	71.6	67	63.3
音圧	—	音圧約4割減	音圧約6割減

*鋼球(20φ・36g)を55cmの高さから木製の台に落下させたときの音圧を距離50cm高さ50cmの地点でマイクにより測定